

町内会活性化の取組を紹介する情報誌

とよキウ通信

(第6号)

令和6年(2024年)2月

発行：豊平区市民部地域振興課

豊平区平岸6条10丁目

TEL：011-822-2427

Fax：011-822-9357

E-MAIL：toyo.shinko@city.sapporo.jp



「とよキウ通信」では、町内会役員の皆さんに町内会活性化に関する情報を発信しています。今回(第6号)は、令和5年11月14日(火)に豊平区が主催した「豊平区 持続可能な町内会を考えるシンポジウム」を取り上げます。



へい
おまち!

今回のテーマ

持続可能な町内会を考える シンポジウム

全国数多くの町内会支援に携わる(株)Glocal Designの酒本宏氏を講師としてお招きし、「持続可能な町内会を考える」をテーマに、前半は、今後の町内会運営のヒントとなる効果的な手法について、他町内会の事例紹介を交えた基調講演を、後半は、グループに分かれ、各町内会の現状・今後の取り組みについて意見を交換するワークショップを行いました。

《シンポジウム開催概要》

日時：令和5年11月14日(火)18時~20時

会場：月寒公民館1階体育室

参加人数：豊平区内町内会関係者41名

たくさんのご参加
ありがとうございました!

《基調講演》

講師：(株)Glocal Design 酒本 宏 氏

講演内容：

「持続可能な町内会を考える」

- 町内会の価値と必要性
- 町内会を取り巻く現状と課題
- 担い手不足の要因とその対応



《ワークショップ(ワールドカフェ)》

「持続可能な町内会運営に向けて」

- レーダーチャートを用いた各町内会の活動の振り返り
- 課題と解決策についてグループ討議
- グループごとの発表・まとめ



はい!!



次のページから
くわしく見ていこう!

◎ 基調講演「持続可能な町内会を考える」



《町内会の価値と必要性》

皆さんの町内会の活動が、住みやすい地域をつくり出し、地域の価値を高めている。

担い手不足に悩んでいた、とある古い住宅地の町内会では、子どものためのさまざまな活動を始めたところ、「子育てに良いまち」だということが噂になり、空き家に子育て世代がどんどん住み始めたという事例がある。大手住宅メーカーも、町内会の活動が不動産の価値向上にもつながるということで、地域のコミュニティを重視しており、地域の価値を高める活動は、住民の生活向上はもちろんのこと、経済活動にまで利益を与える重要なものである。



《町内会を取り巻く現状と課題》

町内会の共通課題として、加入率の低下や担い手不足が挙げられる一方で、住民ニーズの多様化などに伴い、地域コミュニティに対して求められるものは増加してきている。

また、町内会活動に住民の求めている活動がないなどの理由から、町内会組織と住民間の距離が顕著になってきており、持続可能なものにしていく上では、時代や住民のニーズにあわせた活動を展開することが求められてきている。



解決していくためにどんなことができるのかな？？
(こりん)



《担い手不足の解消に向けた対応策の提案》

① 町内会の必要性を感じてもらおう（ニーズの把握）

- 子ども・子育て世代・高齢者の3つの世代が地域コミュニティのサポートを必要としており、高齢者に偏ることなく、若い世代のニーズにも対応するためのアプローチ（子ども向けの行事・子育てサロン等）を実施する。
- 新たな町内会サポーターの発掘や事業の見直しのためのアンケートを実施する。
(※)アンケート設問例
 - ・どのような企画・イベントであれば参加できますか？
 - ・町内会活動のサポーターとしての参加の可能性についてお知らせください。
 - ・町内会にどのようなあり方を望みますか？

② オープンな運営と気軽な参加

- 30歳～50歳代の現役層が気軽に参加できるサポーター制度を導入する。
- できるだけ現役世代を役員に入れる（2～3人の仲間と一緒に気軽な参加を促す）。



③ デジタル化

- 役員会の連絡におけるLINEの活用
 - ・・・情報共有の容易化、負担軽減
- SNSを活用した情報発信、電子回覧板の導入
 - ・・・町内会の必要性を感じてもらおう、現役世代へのアプローチ
(効果的な活用に向け、LINE・SNSに詳しい若者を募り、手伝ってもらうのが有効)



やれることから少しずつ始めるのが大事だね！
(めーたん)



◎ ワークショップ(ワールドカフェ)



もひとつどうぞ!

《レーダーチャートを用いた各町内会の活動の振り返り》

グループ内で、各町内会における以下の取り組みの現況について、点数化し、レーダーチャートにて共有しました。

- | | | |
|---------------|---------------|-------------------|
| (1) 暮らしを支える活動 | (2) 高齢者向けの活動 | (3) 安心安全の活動 |
| (4) 防災体制・訓練 | (5) 若い世代向けの活動 | (6) 子育て支援・子ども向け活動 |
| (7) オープンな組織 | (8) 情報発信と共有 | (9) 他団体との連携 |

《課題と解決策についてグループ討議》

レーダーチャートにて可視化することで、偏ったものとなっていないか、特定世代等に対するサポート不足がないかを見直し、点数の低い取り組みについて今後どうしていくべきか意見が活発に交わされました。

ワールドカフェで出された意見のまとめ ↓↓↓

豊平区 持続可能な町内会を 考えるシンポジウム | 何から始める!?! | おすすめアイデア 2023.11.14

◎ 若い世代へのアプローチ

- ・若者へのアンケート調査
- ・企画を面白くさせる
- ・座談会 ☺

◎ 活動の見える化 情報発信の

- ・デジタル “まずはやってみよう!”
- ・ちゃんと見てもらえるかがネック
- ・SNSの活用
- 10の町内会のと比べても見える
- ・回覧との併用

◎ 子どもの巻き込み 取組

- ・親子参加OK
- ・体験系

◎ 高齢者向けの取組

- ・災害時対応
- ・安心、安全も大事!

◎ 町内会組織の見直し

- ・大学との連携 “ひろ”
- 小中高
- ・新しい部門 “つり”
- ・神社
- ・マニションナー

◎ 関係のつなぎ関係づくり

- ・まずはあつちから!
- ・情報を集める
- ための場をつくる

◎ コミュニティの拠点

- ・若い世代が集まる場づくり
- ・場による情報共有



アイデアがたくさん!
(こりん)

何から始めようかな!
(めーたん)



いいネタあります!



これから町内会活動を進めていく上で、参考になる「ネタ」がありそうです。ぜひ、豊平区役所ホームページでも、今回のシンポジウムの詳細をご覧ください。酒本氏の基調講演は、動画でも公開しています! (最終面の2次元コード参照)

◎ 参加者の声とアンケート結果



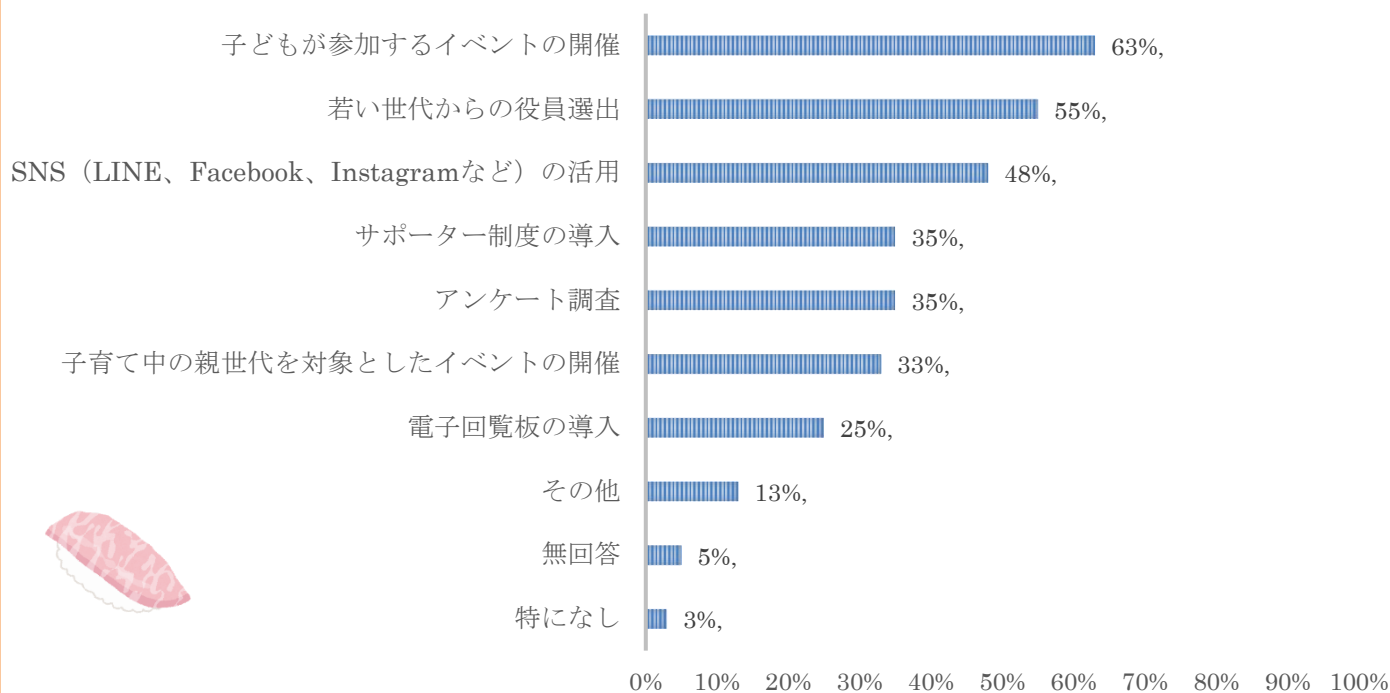
サービスだよ！

《参加者の声》

- ・課題はそれぞれあるが、いかに解決・改善していくか、アイデアと技術両方が必要となる。**先進町内会の例を参考に進めて行きたい**と思う。
- ・「子育てサロンを開催していくようにしたい。」「防災・減災に関する研修会や訓練を充実させたい。」「新しい事業・イベント実施に向けた**サポーター制度を導入していきたい**。」といったことを目標に、取り組んでいこうと気持ちを新たにしました。
- ・今後各種アンケート調査により、**町内会会員のニーズの把握をしていきたい**。
- ・**SNS の活用等を今後取り組みたい**。

《アンケート結果（若い世代との関わり）》

若い世代の町内会参加のために、ご自身の町内会で実際にやりたいことや、すでにやっていること。



若い世代が参加できるイベントの開催、SNS の活用等により、若い世代の参加を促したいという前向きな回答が多いことが分かります。若い世代のアイデアやアクションについて、懐深く支援してあげるような対応も、持続可能な町内会への第一歩なのかもしれません。

編集後記（事務局から）

今回は、豊平区で実施した町内会活性化支援事業の1つ「豊平区 持続可能な町内会を考えるシンポジウム」を紹介いたしました。専門家からの提言もあり、これまで町内会との関わりが少ない「若い世代」の視点に立った活動の実施を行いたいとの声が参加者の皆さまから多数上がりました！今後、具体的にどんな活動を実施していくべきか、まずはアンケートでニーズを把握されてはいかがでしょうか。

引き続き、豊平区 HP では、町内会活動の活性化に関する取り組みを紹介してまいりますので、ご期待ください。



豊平区 町内会 検索

